

「就労支援部会」令和2年度後期活動報告について

1 開催日時等

第35回就労支援部会 令和 2年 9月 4日

第36回就労支援部会 令和 2年12月 4日

第37回就労支援部会 令和 3年 3月 5日

2 部会員

団体等名	氏名
特定非営利活動法人 パンドラの会	坂口 伊久磨（部会長）
特定非営利活動法人 くるくる	鈴木 佳奈
刈谷市障害者支援センター	梶 佳稔
西三河南部西障害者就業・生活支援センター	加藤 正昭
刈谷商工会議所	岡田 行永
刈谷公共職業安定所	福島 洋子
愛知県立安城特別支援学校	加藤 昌子
商工業振興課	二井 久枝

3 報告事項

（1）第36回就労支援部会（令和2年12月4日開催）

第35回就労支援部会（令和2年9月4日開催）において、障害者雇用の現状について共有したが、新型コロナウイルスの影響もあり、今後障害者雇用を含め多岐にわたる課題が露呈してくると思われるため、本市における「障害者就労」について、状況を把握していくとともに、改めて「就労支援」とは何かについて、意見交換した。

ア 部会員所属団体等から一般就労に移行した人数及び移行先（令和元年度実績）

部会員所属団体等	移行者数*	備考
S & J パンドラ	8	移行者数は令和元年10月～令和2年9月実績 <主な移行先> 清掃、機械設計、調理補助など
多機能事業所ソフオー	2	<主な移行先> 学校事務、法人内雇用
就労支援センター くるくる	8	<主な移行先> 工場系、病院での食器洗浄業務、高齢者施設・ 保育園での清掃業務など

部会員所属団体等	移行者数※	備 考
西三河南部西障害者就業・生活支援センター	84	<主な移行先> 製造業（自動車部品関係）、事務関係など
刈谷公共職業安定所	503	移行者数はハローワーク刈谷及び碧南の利用者実績 <主な移行先> 製造関係、事務関係、清掃関係、就労継続支援A型など
安城特別支援学校	15	移行者数は令和元年度3月卒業生の実績 <主な移行先> 製造業、運送業、サービス業など

※移行者数には刈谷市外の人を含む

イ 一般就労に移行した人に対する就労定着支援について

一般就労移行後、本人に対してどのような支援を実施しているかについて、意見交換を行ったところ、主な支援内容としては次の内容が挙げられた。

<主な支援内容>

- ・ 本人の希望に応じて、職場訪問や職場環境の調整、職場の人とのミーティング。
- ・ 本人との個別面談
- ・ 定期的に就労先に電話で本人の状況を確認
- ・ OB会、同窓会の開催

ウ 就労支援体制の構築に必要な「連携」について

「連携」をキーワードにして、就労支援をするうえでどのような連携が必要か、どのような課題があるかについて意見交換を行った。

<主な意見>

- ・ 1つの機関だけで本人を支え続けていくことは困難。複数の機関が役割分担しながら本人を支えていくことができる体制が必要だが、人的にも時間的にも余裕がない。
- ・ 障害者を雇用した企業に相談員はいるが、実際は講習を受講しただけのケースもあり、適切に対応できないこともある。企業側から相談があったときの体制づくりも必要ではないか。
- ・ 適切な支援体制を構築するためには、支援する側にも余裕が必要。
- ・ 連携先として、本人が気軽に相談できる場所が必要。
- ・ 引きこもり等で支援の網に引っかからず埋もれている人に対してアプローチできるようなネットワークづくりができるとよい。

(2) 第37回就労支援部会（令和3年3月5日開催）

ア 優先的に取り組むべき課題について

これまでの部会で就労支援に関する課題として挙げられた事項の中から、優先的に取り組むべき課題について、意見交換を行った。

<主な意見>

- ・障害者枠の求人が少ない。
- ・福祉・医療関係等、支援者側の求人は出ているが、人材が集まらない。
- ・今後、就労定着支援サービスを利用する人が増加すると思われ、定着支援サービスを提供する側の人材不足が心配される。
- ・支援者側に就労支援に関する十分なノウハウがない。
- ・学校卒業後、就労移行支援サービスを利用して就労した人と比べるとストレートに就労できた人に対する支援が薄い。こうした人への支援が手厚くなれば、将来問題が生じても深刻になる前に対応できる可能性が高いのではないか。
- ・地域に就労定着支援を行う機関が増えるとよい。

イ 今後の検討事項について

これまでの意見交換で挙げられた意見等を基に、令和3年度の就労支援部会における検討事項について協議した。

<主な意見>

- ・就労だけでなく、生活面でも支援できる体制の構築に向けた検討
- ・就労継続支援A型・B型から一般就労した人の就労定着支援に関する検討
- ・就労定着支援の提供体制の充実に向けた検討

4 令和3年度の就労支援部会について

今年度の就労支援部会及び就労連絡会を通じて、一般就労への移行促進に関して様々な課題を抽出することができた。令和3年度の就労支援部会ではこれらの課題の解決に向けた検討を行う。

また、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により企業向けセミナーを実施することができなかったが、令和3年度は、オンラインでの開催も含め、実施について検討したいと考えている。